

7 村政を問う 一般質問

国内の原発はどうあるべきか  
加入負担金の賦課替えは  
新しい財政計画を策定すべきでは  
防犯灯をLEDに切り替える考えは  
各種基金の積立目標額は  
学校給食調理場の現状は  
海外資本の土地売買法の整備は  
建物評価基準の見直しは

はろば  
白馬  
議会だより  
98号

平成23年10月31日発行

1 平成22年度決算認定

2 こんな審議がありました

6 議決結果

16 私の思い出

17 わたしのひとこと



絆と団結 白馬北小学校運動会 9月17日

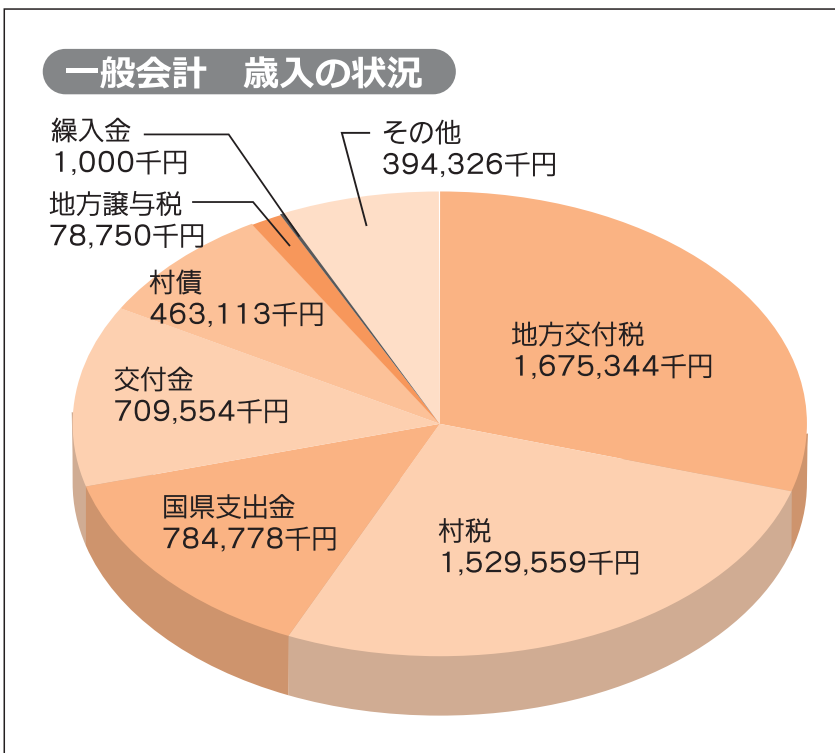
# 8千円!!! 黒字

## 決算特別委員会 での審議

### ● 一般会計歳入歳出決算

* 報告	1 件
* 一般会計等予算の議案	2 件
* 条例の一部改正	3 件
* 認定	7 件
* 同意	1 件
* 請願・陳情	7 件
* 意見書	5 件
* その他	1 件
* 一般質問	8 名

歳入総額56億3642万4千円 前年度比6億4970万7千円 13・0%の増。歳出総額55億3244万4千円 前年度比6億1292万7千円 12・5%増。翌年度へ繰り越す財源1350万2千円を差し引いた実質収支は9047万8千円の黒字決算となりました。



財政調整基金に1億3086万6千円を積み立て、6億3208万8千円となり、減債基金3億3418万1千円との合計9億6626万9千円となりました。取り崩しを始める以前の平成13年度末と比較して6268万9千円を上回る積立額となりました。

福祉基金に1億円、義務教育施設整備基金に1億円、ふるさと納税制度寄附による基金に1550万7千円を積み立て、特定目的基金の総額は3億8600万1千円となりました。実質公債費比率は3カ年平均19・2、単年度数値では16・

9月6日から21日まで 開催

0と順調に減少し、平成23年度には18をきる見込みとなりました。将来負担比率は64・4となり、全く心配のいらないう状況となっています。

**問** 経常収支比率は、

**答** 経常収支比率は前年度比5・9ポイント下降し75・2%となりました。公債費や一部事務組合への負担金(経常経費一般財源)が減少し、積立金(臨時経費一般財源)が増加したことによります。国の施策によって変わります。国が適正という70に10ポイントほど加算した数値が適当であるといわれています。

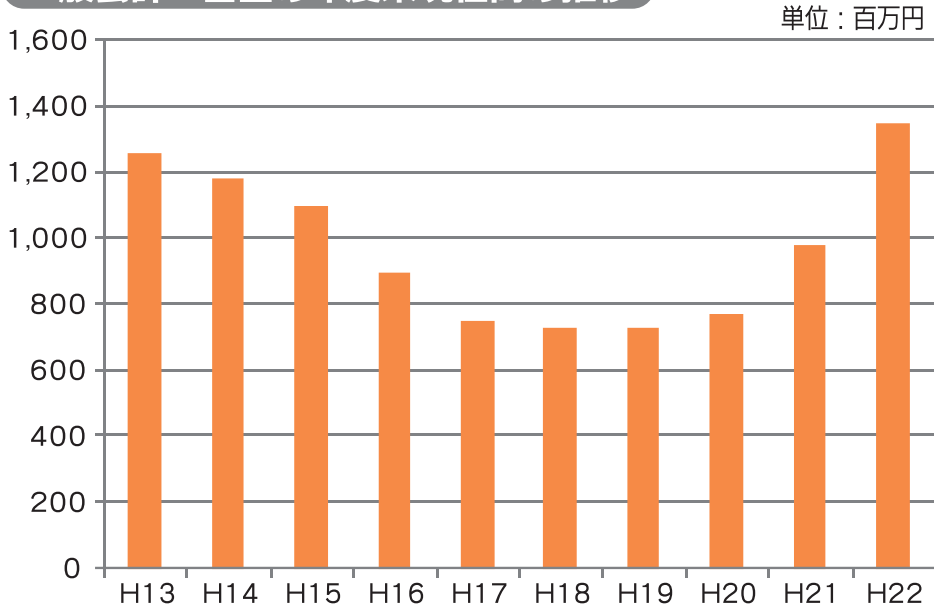
**問** 事務事業評価の37事業の選定経緯は、

**答** 全課250事業について、各課で評価調査を作り、庁内評価委員会外部評価の対象を37事業としました。外部評価結果を主管課にフィードバックし各課はそれを参考にして予算要求します。

# 平成22年度 決算認定

## 実質収支 9047万

一般会計 基金の年度末現在高の推移



単位：百万円

※特定目的基金を含みます。

**問**

長野県地方税滞納整理機構への移管状況は。

**答**

2月に事前通告し、移管は23年6月からです。事前通告により徴収率が上がりました。

**問**

村税徴収率は。

**答**

徴収率は全体で63%、前年度比2.1%の増となり、未収額は8億7700万円、前年度比2.7%の減

**問**

です。

**答**

デマンド型乗合タクシー運行事業について、白馬村地域公共交通会議から村に運行を委託しています。国からの補助事業は平成23年度で終わるため、今後どうするか決めなければなりません。

**問**

白馬山麓清掃センターの土地賃貸借契約は。

**答**

契約期間は60年間で平成55年まで、現在の使用料は年額550万8千円です。

**問**

観光局負担金1億1000万円の詳細な報告が必要では。

**答**

観光局は決算を一般にも公表しています。観光局に特化して、負担金の内容を、村が報告することはないと考えます。

**問**

神城山麓線の工事完成は。

**答**

完成は24年12月を予定しており、残りは延長350mで予算は8700万円です。

**問**

スキー選手育成会の寄付は村の補助金で出す

べきではないか。スキー選手ばかりに助成するのは不公平ではないか、行政区加入者だけが負担しているなど、見直しを検討しては。

**答**

このような制度は白馬村がスキー観光で成り立ってきたためですが、社会情勢が急激に変化してきたため様々な考え方が出てきています。検討する時期にきていると思います。

●国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算

歳入総額は11億5660万3千円、歳出総額は10億7978万6千円、実質収支額は7681万8千円です。

**問**

不納欠損額、収入未済額の内容は。

**答**

不納欠損額は135万7千円で死亡3件、行方不明8件、資産なし13件。収入未済額は6189万4千円です。

▽原案どおり認定すべきものと決定。

●後期高齢者医療特別会計  
歳入歳出決算

歳入総額は6081万9千円、歳出総額は6072万1千円、実質収支額は9万8千円です。

**問** 一人あたり医療費は75万円だが、県内順位は。

**答** 医療費の高い方から25番目です。

▽原案どおり認定すべきものと決定。

●老人保健医療特別会計歳入歳出決算

歳入総額は30万2千円、歳出総額は30万2千円、収支は0円で平成23年3月31日をもって特別会計は廃止となります。

▽原案どおり認定すべきものと決定

●下水道事業特別会計歳入歳出決算

収益的収支額は1億2464万5千円、資本的収支額は△1億2269万5千円、単年度収支額は195万円の赤字です。実質収支額は前

年度繰越金751万6千円を加え946万6千円の赤字となりました。

**問** 下水道の加入率は。

**答** 75・4%（前年は74・5%）です。

**問** 受益者負担金と加入分担金の違いは。

**答** 土地面積に賦課されるもので、受益者負担金（900円/㎡）を3年間支払わない場合は、加入分担金（1350円/㎡）に賦課替えとなります。この場合、新たに家を建てて下水道に入るとき加入分担金を支払うこととなります。

**問** 収入未済額への対策は。

**答** 収入未済額は1億5800万円で322件です。時効対策として誓約書、催告書、内入れ金などで対応し、応じない場合は差し押さえ等ができるような体勢づくりを検討します。

▽原案どおり認定すべきものと決定。

●農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算

収益的収支額は1815万8千円、資本的収支額は△1734万4千円、単年度収支額は81万4千円の赤字で、実質収支は前年度繰越金40万3千円を加え、121万7千円の赤字です。

**問** 公共下水道との統合の場合、国への補助金の返還は。

**答** 施設をあと利用する場合は、補助金返還はありません。

▽原案どおり認定すべきものと決定。

●水道事業会計決算

収益的収入額は2億9729万8千円、支出額は2億6309万3千円、純利益は3346万7千円です。

**問** 未収金対策は。

**答** 5ヶ月滞納で給水停止の通知を出し、6か月過ぎてても入金しない場合は給水停止とします。

▽原案どおり認定すべきものと決定。

このような審議がありました

総務社会委員会

大腸がんも健診補助対象に

●白馬村地域情報化施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

●白馬村災害弔慰金の支給に関する条例の一部を改正する条例

●平成23年度白馬村一般会計補正予算（第3号）

▽可決すべきものと決定

集合住宅の加入申請の改正、サービスの一時休止と再開、映像放送の放映料の改正など。

**問** 放送放映料の値下げ理由は。

**答** 半年が経過し、利用しやすい金額にするため、本格的な営業活動に向けて10月1日から実施します。

●白馬村伝統的建造物群保存地区保存条例の一部を改正する条例

▽可決すべきものと決定

**問** プール撤去の範囲は。

**答** 構造物のみです。



(視察) 愛媛県西予市議会 10月18日

▽可決すべきものと決定

●白馬村国民健康保険事業  
勘定特別会計補正予算  
(第1号)

一般被保険者療養給付費1  
200万円、給付費準備基金  
積立金3469万円、療  
養給付費負担金等返納金15  
63万2千円の増額。

▽可決すべきものと決定

●請願第4号「義務教育費  
国庫負担制度」の堅持を  
求める請願書

義務教育費国庫負担制度を  
堅持し、負担率を2分の1に、  
負担金から除外した教材費、  
旅費、共済費、退職手当など  
の還元。

**意見** 義務教育なので、国で  
みるべきでは。

▽可決すべきものと決定。意  
見書を提出。

●請願第5号 30人規模学  
級の早期実現、教職員定  
数増を求める意見書

▽可決すべきものと決定。意  
見書を提出。

●請願第6号 長野県独自  
の30人規模学級中学校全  
学年への早期拡大と複式  
学級の解消、県独自に教  
職員配置増を求める意見  
書

**意見** 白馬中学校も該当しま  
す。  
▽可決すべきものと決定。意  
見書を提出。

●請願第8号 山の恩恵に  
感謝し、里山・山岳の自然  
とともに共生して地域づ  
くりをする村民挙げての  
決意のため「白馬山の日  
の制定」を願う請願書

**意見**  
\*「白馬山の日」は議論が必  
要。

\*昔から白馬の文化として  
「山の講」に感謝し、貞逸  
祭・開山祭を開催している。  
\*提出者から趣旨を確認する  
ことなどが必要。  
▽継続審査にすべきものと決  
定。

●陳情第6号 私立高校に  
対する大幅公費助成をお  
願いする陳情書

私立高校に通う生徒の保護  
者負担を軽減する。

**意見**  
\*公立、私立とも高校になる



がんばるぞ!! 白馬南小学校運動会 9月17日

と教育費の負担が重い。  
▽可決すべきものと決定。意見書を提出。

**●陳情第7号 白馬村情報公開条例及び白馬村情報公開条例施工規則の改正を求める陳情書**

地方自治法、憲法、障害者基本法、IT基本法に違反するので、同条例及び施行規則の改正を再度陳情する。

**意見**

\*電磁的記録を公文書として公開する場合、個人情報など公開に適さない部分の処理が必要であり、時間的課題や人的な問題がある。

\*本会議はケーブルテレビで中継され傍聴もできる。

\*視覚障がいのある方で、書面だけでは利便性が悪いという実態があるので、陳情の趣旨にこだわりたい。

\*公文書の公開にあたり、視覚障がいのある方からの申し出により、社協で読み聞かせをしている。

▽委員少数の賛成により不採択すべきものと決定

**産業経済委員会**

**災害復旧費に  
1558万円**

**●平成23年度白馬村一般会計補正予算(第3号)**

公衆トイレ管理  
事業費106万円  
林業振興費255万2千円、林業振

興・林道維持補修事業に107万5千円、林道改良統合補助事業に73万5千円、有害鳥獣被害対策事業に72万2千円、観光安全浄化対策費273万5千円、商工振興費560万円、道路維持費725万円、公共土木施設災害復旧費155万8千円の増額。

**問** 佐野坂観光協会管理の焼失小屋の撤去費用107万円の内容と保険加入は、

**答** 県の建物で、村への移管時に加入もれでした。

加害者に賠償能力がなく、長期に放置されるのを防ぐための費用です。

**問** 災害復旧工事の内容は。

**答** 青鬼地区の路肩崩落、菅地区の法面崩落等で

約7割が国の負担金で、残額は充当率100%の災害復旧事業債です。

▽原案どおり可決すべきものと決定。

**●請願第7号「免税軽油制度の継続を求める請願」**

道路未使用車両に関わる免税軽油制度が、平成24年3月末で廃止の状況下であり、村内スキー産業での使用車両も多く地域経済に及ぼす影響が大きい。村内索道業者の総使用料は約68万6千強で税額は約2200万円、県全体では1億4000万円になる。

▽採択すべきものと決定。意見書を提出。

**本会議での討論**

**●陳情第7号**

**賛成討論 【篠崎久美子】**

公平な権利の保障のために、情報を得ることに障がいのある方が、スムーズに情報を得られるように、対策と条例化が必要。

情報の提供方法や電磁的記録を公文書とすることも含め、包括的に条例の検討をすべきと考え陳情の趣旨に賛成します。

**反対討論 【太谷正治】**

電磁的記録を公文書にする場合、個人情報の処理など様々な条件が出て来る。高度な機器の費用や時間的な問題もある。視覚障がい者に対しては、議会本会議はケーブルテレビで放映しているし、定例会の会議録は、社協の職員等がテープに入れて対応している。



(視察) 佐賀県基山町議会 10月19日

● 9 月 定 例 会 議 決 結 果 ●

件 名	議決結果
道路上の事故等村の義務に属する損害賠償の専決処分報告	承認 (全員賛成)
白馬村地域情報化施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決 (全員賛成)
白馬村伝統的建造物群保存地区保存条例の一部を改正する条例	
白馬村災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	
平成23年度白馬村一般会計補正予算 (第3号)	
平成23年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算 (第1号)	
平成22年度白馬村一般会計歳入歳出決算認定	認定 (全員賛成)
平成22年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定	
平成22年度白馬村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	
平成22年度白馬村老人保健医療特別会計歳入歳出決算認定	
平成22年度白馬村下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	
平成22年度白馬村農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	
平成22年度白馬村水道事業会計決算認定	同意 (全員賛成)
白馬村教育委員会委員の任命	
村長の専決処分事項の指定	可決 (全員賛成)
「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める意見書	
30人規模学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書	
長野県独自の30人規模学級の中学校全学年への早期拡大と複式学級の解消、県独自に教職員配置増を求める意見書	
免税軽油制度の継続を求める意見書	
私立高校への公費助成に関する意見書	

● 陳 情 等 文 書 ●

(敬称略)

提出者	住所	要 旨	付託委員会	審査結果
長野県教職員組合 大北支部白馬単組 執行委員長 細川 朗	白馬村	「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める 請願書	総務社会	採択 (全員賛成)
長野県教職員組合 大北支部白馬単組 執行委員長 細川 朗	白馬村	30人規模学級の早期実現、教職員定数増を 求める意見書提出に関する請願書	総務社会	採択 (全員賛成)
長野県教職員組合 大北支部白馬単組 執行委員長 細川 朗	白馬村	長野県独自の30人規模学級の中学校全学年へ の早期拡大と複式学級の解消、県独自に教職 員配置増を求める意見書提出に関する請願書	総務社会	採択 (全員賛成)
白馬村索道事業者協議会 会長 倉科光之	白馬村	免税軽油制度の継続を求める請願	産業経済	採択 (全員賛成)
白馬村宮沢敏文後援会 会長 津滝和生	白馬村	山の恩恵に感謝し、里山・山岳の自然とと もに共生して地域づくりをする村民挙げ ての決定のため、「白馬山の日の制定」を願 う請願書	総務社会	継続審査 (全員賛成)
中信地区私学助成推進協議会 会長 赤羽勝巳	松本市	私立高校に対する大幅公費助成をお願い する陳情書	総務社会	採択 (全員賛成)
中村敬・渡辺俊夫・越前千尋	白馬村	白馬村情報公開条例及び白馬村情報公開 条例施行規則の改正を求める陳情書	総務社会	不採択 (採択に賛成: 篠崎 小林)

◎白馬村教育委員会委員の任命について同意 松倉 好乃さん (森 上)

一般質問 (紙面の都合上、質問者本人が要約し掲載しています)

安全で活力ある  
村づくりをめざして  
村政を問う



ママにおてつだい(未満児)!しろうま保育園運動会 9月27日



第11回姫川流域行政経済会議 10月24日



教育問題

問 国内の原発はどうあるべきか

答 原発への依存度は下げるべき



小林 英雄 議員

【原発事故と今後の対応について】

信濃毎日新聞が県下77自治体首長に行なったアンケートで、「国内の原発はどうあるべきか」について村長は、「現状維持」と回答。その理由と、現在もその考えは変わらないのか。

次に、原発事故で放出された放射能による子どもたちへの被ばくの不安が拡がっている。子どものいる家族の避難受け入れを前向きに検討すべきだと思うが、村長の考えは、

原発から撤退すれば、代替手段が確保される

かどうかが問題です。撤退により電力不足が生じたり電力料金が上がったりすれば、企業の海外移転等が懸念されま

【住宅リフォーム助成制度について】

住宅リフォーム助成制度は、総工事費1億3千万円になったと聞くが、その効果についての評価は、

【村長】 6月と7月にそれぞれ1千万円の補正予算を組み、総額2千万円の補助金枠で事業を進めました。これまでのところ、総工事費は約1億3千万円となっております。

【問】 1次・2次ともに10日間程度で打ち切りとなつたが、継続してほしいという強い要望や、公平さを欠

【村長】 今年これで終わりにしたいと考えています。やってもらったよかったです。

【問】 う多くの意見を聞き、よかったと思います。一方で、不満の声も聞いています。住宅リフォームがよいのか、さらに発展させた制度がよいのか、検討してまいります。



自主避難者と懇談（花三昧会場にて）

### 下水問題

## 問 加入負担金の賦課替えは

## 答 公平性に配慮し、見直しの検討を



太田 修 議員

### 【平成22年度決算について】

**問** 下水道会計の受益者負担金の未納状況と対策は。

**村長** 現在の未納額は、1億5875万円余りです。滞納処分が必要な人には、差し押さえ等を検討中です。

**問** 加入分担金の賦課替えの検討は。

**建設水道課長** 平成13年度に制定し、10年が経過していることや新築工事の減少などから、村民の公平性に配慮しながら見直しについて検討します。

**問** 近隣市村で加入分担金の徴収不能に関わる報道があるが、当村の状況は。

**建設水道課長** 滞納者に対し、誓約書や内入金による処理を行い、時効による該当者はいません。

**問** 滞納等関係書類の整備と事務引き継ぎの状況は。

**建設水道課長** 関係書類は新システムに連携し、担当者が異動しても対応できます。

**問** 水道会計の滞納額と対策は。

**村長** 現在の額は、5245万円余りです。原因は

冬季の停水不能な時期に転出したり、所在追跡不能者が多いことから、「給水停水処分取扱要綱」の期間短縮について見直しを進めます。

**問** 人口流出による住民税の確保は。

**村長** 人口が9000人を割り、財政の根幹に関わる問題で非常に憂慮しています。流出の原因は、観光産業の低迷にともなう雇用環境の悪化等があるため、広域観光への連携や特産品開発などを進めつつ、雇用促進に努めます。

**問** 県地方税滞納整理機構の進捗状況は。

**村長** 20件を移管し、徴収状況は、6月134万円、7月1516万円、8月102万円、分納誓約では、約2500万円です。

### 【子ども安心・安全マップの作成について】

**問** 子どもを守る安心の家

**教育課長** 神城地区28軒、北城地区40軒です。

**問** 危険個所の調査と周知は。

**教育課長** 4月にPTA校外生活指導部で、児童とともに登校し危険個所を直接指導しています。

### 【体育施設等の整備計画について】

**問** 現有体育施設の改修計画は。

**村長** 次年度以降では、B&Gプールの大規模改修、スノーハープ・クロスカントリー競技場に陸上競技場の建

設を計画しています。利活用検討委員会の答申内容を検討し、有利な起債を活用して進めたいと思います。また、グリーンスポーツのランニングコースの増設も計画しています。

**問** 有効利用に向けた受付体制は。

**村長** 使用期間が集中しており、重複時は利用者間で調整をお願いしています。



マクレ・ジャパンカップ白馬大会会場に!

財政問題

新しい財政計画を策定すべきでは

答 改めて財政推計を行う考えはない



松沢 貞一 議員

【人口減少と  
財政計画について】

**問** 人口減少が地方交付税  
に与える影響は。

**村長** 人口を算定基礎とする  
場合は国勢調査人口が  
使われます。他にも算定基礎  
があるため、普通交付税の総  
額ベースでは単純に減額とは  
なりません。今後5年間は22  
年度国勢調査人口9207人  
を使用するため、影響は大き  
なものではありません。

**問** 第4次総合計画の後期  
計画がスタートしたが、  
人口減少や地方交付税の減額  
などの課題を踏まえて新しい

財政計画を策定すべきでは。

村長

税収、交付税等の国か  
らの依存財源などは減



降雪を願う

少傾向で予測しており、改め  
て財政推計を行う考えはあり  
ません。

**問** 臨時財政対策債の増加  
は、財政健全化の観点  
からは問題が多いのでは。

村長

臨時財政対策債は、地  
方交付税の交付に替え

て地方債の発行額が配分され  
るもので、毎年度限度額まで  
借りています。後年度に交付  
税として戻ってくるとはいえ、  
公債費として支出は伴うので、  
公債費の削減という観点から  
は財政状況が許せば限度額ま  
で借りない方向も検討してい  
きます。

**問** 財政健全化を進めなが  
ら投資的な事業をどう  
実施するのか。

村長

平成22年度の公債費は  
7億6千万円に減少し  
ています。第4次総合計画を  
基本として投資金額が単年度

で大きな負担とならないよう  
に、有利な補助事業や起債事  
業、特定目的基金などを活用  
し財政健全化を堅持しながら  
事業を進めていきます。

【観光振興策について】

**問** 白馬村の知名度を上げ  
るため観光大使を起用  
してはどうか。

村長

村に関係する有名人に  
観光宣伝活動に関わっ

ていたはくのは、知名度を上  
げる有効な手段です。現在、  
上村愛子さんなどにイベント  
に参加していただいています。  
観光ファンや一般住民を対象  
とした「ふるさと大使」も含  
め検討します。

**問** インバウンドの観光客  
の減少が懸念されてい  
るが、この冬の誘客対策は。

村長

村観光局は今年度、日  
本政府観光局の会員と

なり、キャンペーン参加や海  
外事業所からの情報を得て的  
確なマーケティングやセール  
スを展開していきます。また  
長野県や索道事業者等関係団  
体と連携し、スキー長野伝来  
100周年事業やスキー人口  
拡大事業、海外での商談会、  
海外メディア招へいや留学生  
モニターツアーによる情報発  
信等の事業を推進し、誘客に  
努めます。

環境問題

問 防犯灯をLEDに切り替える考えは

答 補助対象として検討したい



田中 榮一 議員

【生活環境整備について】

**問** 防犯灯の補助金を増額し積極的にLED（発光ダイオード）に切り替えを促しては。

**村長** LED照明は「長寿命・高信頼性・低消費電力・低発熱性」を備え、日本全体が節電に取り組む今、大変時宜に即したものと認識しています。従来の補助制度では、対象外であった電球のLED化については、補助対象として検討したいと思えます。難点は高価格であり慎重にならざるを得ない状況にあり、補助率・上限額は当面据え置きで対応します。



LED化が望まれる街灯

**問** 国道148号沿いは暗く、夜歩く人も多いため、防犯灯を設置したらどうか。

**村長** 現在、国道148号には県が設置している街路灯が93基ありますが、さらに防犯目的で増設する場合は、必要箇所を調査し県に設置要望をしていきます。

【地域防災計画について】

**問** 避難誘導を図る基本的な体制づくりは、いつ、どのような形で取り組むのか。

**村長** 本年度から5カ年計画で村内避難所への案内看板の設置と、孤立性が高い山間集落に衛星携帯電話の配備を計画しています。また、指定避難所や危険箇所などを記したマップに、災害に対する備えを加えた「防災ガイドブック」の作成に着手します。切迫した状況では、生命を守る最低限の避難行動を選択する判断力と行動力が必要です。住民一人ひとりの災害対応力を高める必要があり、防災意識や知識を高める機会を提供していきます。

【地域高規格道路について】

**問** 県は、このほど長野道を豊科インター北の安曇野市、光地籍付近で分岐するA、B、2つの概略ルート案を提示したが、村内ルートについての考えは。

**村長** 村内ルートについては、白馬商工会が各種団体で組織した「松本糸魚川連絡道路建設促進白馬村実行委員会」において意見集約した案を、平成22年に村に要望書として提出を受けています。その中で、長野県の示す村内の「バイパス案を含め更なる調査・検討を行う区間」については、姫川沿いの東側ルート案が提示されていますが、今後の参考にと考えています。この要望書は、大町建設事務所にも提出しています。今後は、村内検討委員会を設置し、大北5市町村で足並みを揃え、県とも連携しながらルートの決定に向けて進みたいと思えます。

財政問題

問 各種基金の積立目標額は

答 過去の減額分の回復を図ったもの



篠崎 久美子 議員

【財政状況と今後の事業計画】

問 各種基金の積立目標額と、想定する取り崩しの場面は。

答 過去の減額分を回復する程度に基金積立ができました。財政調整基金は国の政策影響も考えた運用を検討、義務教育施設整備基金は老朽化施設の更新等、福祉基金は介護や福祉施設整備負担増等を想定しています。

問 債務償還予定と事業計画は。

答 地方債残高は22年度末で60億6200万円、

今年度償還予定額は7億900万円、新規発行債を除けば28年度末残高は29億2500万円、償還額は5億円を下回る予定です。現在の新規発行債は1億2000万円程度に抑制しています。第4次総合計画を基本とし、事業を計画的に進めます。

問 村内景気刺激策は。

答 観光局を拠点に誘客対策への取り組み、特産品開発で農家所得安定、新規起業家への補助等を考えます。

【グリーンスポーツ施設について】

問 老朽化と衛生面からトイレの改修は。

答 改修は避けて通れないと思います。多額の費用が必要ですが、建物も含め優先的に解決を図りたいと考えています。

問 AEDの設置状況と、建物や遊具の耐震性は。

答 AEDは来年度に設置するように協議します。ハウスは耐震診断が必要な施設ですが、遊具は診断義務付けではありません。安全面からの全遊具の補修は完了しています。

問 歴史民俗資料館、古民家の利用状況と今後は。

答 資料館の村民利用はほとんど無く、資料保存も望ましい状態ではありません。将来的には専門職の配置や、企画展示、講座開催などで誘客にもつながるものが必要と考えます。

【農業活性化について】

問 営農支援センターの業務内容、職員配置、設置場所の見直しは。

答 業務は農家懇談会、栽培技術講習会の開催、

問 新規就農希望者への対応、農地幹旋、技術指導

その他事務処理等で、今年度は村職員1名、農協関係職員1名の配属、場所については総会で協議検討していきたいと思えます。

問 新規就農希望者への対応、農地幹旋、技術指導

答 新規就農希望者は年間1名程度しかなく、農地幹旋は耕作放棄地防止から

問 新規就農希望者への対応、農地幹旋、技術指導

担い手を第一にしています。希望があれば新たな作物の技術指導も可能です。

問 特産品開発や地産地消については。

答 関係団体と連携しブランド商品販売拡充に努め、顔の見える形の地産地消の推進が重要と考えます。



衛生面のイメージアップを!

教育問題

問 学校給食調理場の現況は

答 26年が経過し、検討の時期に



太田 伸子 議員

【共同調理場の現状について】

**問** 衛生基準が厳しくなってきた現在の現在、夏の猛暑の中、衛生・調理状況は、

**長** 現在の共同調理場には換気扇はありますが、

冷房・空調設備は備えていないため、調理中の調理室内温度は、6月から10月にかけて25℃を超え、夏場には30℃を超える日も珍しくない状況です。猛暑日には、室内温度が35℃を超える日もあり、食品衛生面のみならず、従事している調理員の労働衛生面からも好ましくない状況で、保健所が実施する食品衛生監視指

導においても改善指導を受けています。



老朽化が進む学校給食共同調理場

**問** 学校給食における放射性物質の検査、地場産品の利用状況は。

**長** 教育 村独自の放射性物質検査は実施していませんが、農水省、県農政部、県健康福祉部からの情報を日々確認しつつ、献立の作成、食材の発注をしています。地産地消を基本に安全な食材を使用することを念頭に置き、村内産、続いて長野県産、国内産を原則に提供しています。

**問** 共同調理場の今後の在り方は。

**長** すでに26年が経過しており、そろそろ検討していく時期がきていると思います。

【観光振興策について】

**問** 「道の駅白馬」の現状は。

**長** 村振興公社が運営管理を行っています。順調に推移していましたが、震災の影響で利用者が激減しました。

**問** 「道の駅白馬」の将来構想と場所の移転について。

**長** 特産品等地域を代表するものを取り扱うなど、道の駅ブランドが確立されています。一般車両から大型バス、トラック、自転車に至るまで、いろいろな方が訪れる施設でありますが、駐車場が狭く車が入れないこともあります。地域の特産や地場産野菜などの売り場面積の狭さなども課題となっており、利用者規模に合った施設の整備が必要と認識しています。主要な道路を含め、道の駅をどのようにしていくか分析し、検討していきます。

**問** 【行政区加入について】

**長** 行政加入促進策として行政サービスの格差付けは。

**長** 行政運営の根幹であるから消極的にならざるを得ないと考えておりましたが、区への加入確認の必要性も生じてくることから、村側からの押し付けでなく、区長会等で各行政区の意見も伺いながら検討していきたいと思えます。

環境問題

問 海外資本の土地売買法の整備は

答 条例で規制するのは無理



高橋 賢一 議員

【海外資本による  
土地買収の対応について】

**問** 海外資本による水源地等森林売買の規制、管理体制の構築を図るための法整備を行う必要があると思うが。

**村長** 日本の森林を投資目的で買収し、材木販売やCO<sub>2</sub>の排出権取引に利用するなどのほか、清涼な水資源の確保のためという報道もありました。日本の法律は土地の私的所有権を強く保護する法律ですが、国際法上からも外国人・外国資本にのみ、土

地売買の権利制限をかけて規制することはできません。

**問** 諸外国における外国人の土地の売買は、「自国文化の伝承」の論拠に基づいての条例施行が多く、ほとんど土地売買が成立しないようだが、白馬村において、子ども達に自然の営みと文化を伝承するためにも、条例による規制はできないか。

**村長** 理念条例としては環境基本条例があります。民有林の所有権移転を妨げることは無理であり、条例による規制は難しいです。

【海外観光客  
受皿事業について】

**問** 個人の営業施設を巡回する海外観光客対象のナイトシャトルバス事業は、公共性の低い事業であると思われる。補助金は本年度限りとなっているが、今後は受益

者の応分の負担を考えると、デマンドタクシーの利用者枠を広げ、公共交通としての利用推進を計ったかどうか。

**村長** 宿泊施設、飲食・小売店等の受益者を特定することは困難ですが、自主財源の確保という観点からの受益

者負担や、タクシー運輸とデマンドタクシーとの連携を考慮し、村の負担のあり方等について検討して参りたいと思います。

【災害時の飲料水  
給水事業について】

**問** 災害時の断水による給水供給は、一日1人4リットル、白馬村だけでも短時間に36トンの飲料水が必要になる。停電の災害下、手早く給水できる地下水源はあるのか。

**村長** 白馬村には3カ所の水源と、14カ所の配水池があるため水系の切り替えにより、ある程度断水区域の解消は可能であります。楠川の取入は、昭和36年に完成した「北部水道」の水源であり、50年を経て老朽化していますが、豊富な湧水を維持しています。水辺環境の整備、進入路の整備、コンクリート集水堤の底部の漏水やポンプ室の老朽化、フェンスの改修等を含め検討して参ります。



初冠雪と水資源 10月3日

税制問題

問 建物評価基準の見直しは

答 村の判断ではできない



太谷 正治 議員

【税制の見直しについて】

**問** 固定資産税の優遇、建物の評価基準の見直しは。

**村長** 評価基準は総務大臣の任務として評価基準を定めることが規定され、それにより固定資産の価格を決定しなければならぬと法律で定めています。国から地方交付税の交付を受け財政運営している中では、一村の考えでの税制の優遇ということも難しい状況であります。建物の経過年数に応じる減点補正率がありますが、村だけの判断で下げられません。特別の要



賑わう 第1回八方トレイル・ラン

因で建物が通常以上の損耗劣化した場合には、その状況を調査し減点補正できる場合があります。

【教育施策の充実について】

**問** 南北小学校の教育内容に違いはあるか。

**長** 北小は「元気で明るく今をがんばる北城の子供」南小は「学びあう、はげみあう、むつみあう」を学校教育目標として、それぞれの特色を生かした活動を展開しています。新学習指導要領が実地され、従来よりも各教科の指導内容が充実されました。両校で連絡を取り合って学習指導の進ちよく状況や指導内容の確認を行い、学習内容に格差がでないよう十分配慮しています。

**問** 学力等の格差があるか。

**長** 教育 両校の2年生から6年生まで本年実施したNRT検査結果では、国語・算数の正答率の平均はどの学年も全国平均を上回っていました。学力格差は認められず、あくまでも個々の学力の向上は、

学校教育施策の基本的方向性であり、基礎的な知識技能を習得するための取り組みを一層推進して参りたいと考えています。

【村長公約について】

**問** 観光の活性化、情報発信、インバウンド対策

**村長** 民間の観光客満足度調査や、その他のデータを踏まえ、観光地域づくりや観光戦略を立てていきます。局情報発信では、会員向にはFAX、電子メールでの発信に加え、専用サイトを6月より稼動しています。観光局発行を年4回発行しています。インバウンドではスノーリゾート信州プロモーション委員会事業に参加します。山岳基盤整備は白馬山案内人組合各山小屋の協力を得て、登山道の維持設備を継続すると共に、八方尾根自然研究路については環境省の直轄事業で整備が行われていますが、必要個所については引き続き要望してまいります。



# 私の思い出



みそら野 石田 弘行

## 夢の地・白馬

私は、昭和20年に母の実家である岩手県盛岡市で生を受け、幼児から大学卒業までを東京練馬で生活し、白馬との縁は高校入学と同時に山岳部へ入部したことに始まりました。昭和36年8月、私の母校である東京都立石神井高校の山荘が八方尾根黒菱に竣工しました。雪山に映える黄色い屋根(マナスルカラー)の建物がそれです。

創立当初から、この山荘の運営は大変ユニークで、学校行事である林間学校の唐松岳登山やスキー教室に参加する高校生の山荘滞在中の生活一切を、卒業生が面倒見るというものでした。山荘竣工の年

に石神井高校に入学し、山岳部や黒菱山荘での活動を通じ、白馬を身近に感じつつ、高校卒業後はOBとして後輩の世話を続け、大学では造園(観光分野)を学ぶうちに、卒業後も白馬で生活するすべはないかと、白馬での就職を真剣に考えました。そして当時は大卒採用のなかった白馬観光開発(株)へ頼み込み、運良く入社することができたのです。梅池営業所、東京本社総務・営業・企画、白馬への本社移転など、白馬観光開発(株)での仕事は充実していました。岩岳メンバーズクラブ、白馬トレッキング、梅池ロープウェイなど思い出多い仕事がたくさんあり、私を社会人として育ててくれた場でもありました。

お世話になった会社でしたが、事情があって中途退職し、東京に転職したものの、白馬への想いは絶ちがたく募るばかりでした。結局、昭和63年に再度の白馬移住を決心し、みそら野で『グローブ イン スカラ』という宿を開業し、今

日に至っております。宿のかわら、山案内人、遭対協、マイスターなどの仕事を兼ね、村の観光に少しでもお役にたてればと働いてきました。

今年、私が初めて白馬の地を訪れて50年になります。あつという間の50年でした。

8月には白馬で結婚した長女夫婦に私達の初孫が誕生し、同居の次女夫婦はスカラの後継者として歩み始めました。喜びの中に戸惑いも感じつつ、世代の交代を実感する今日この頃です。この地に、私達の代にまいた種子が、目を出し、根を張り、花が咲き始めました。昔からの山仲間「お前は幸せ者だ」とよく言われます。本当にそう思います。

白馬の地で家族そろって生活できることの幸せは、夢の実現にはかならないからです。このことは、八方をはじめ、この村の大勢の方々の支えがあったからこそと、感謝の気持ちでいっぱいです。

すでに高齢の域に達しましたが、これからも白馬の自然と、この村の持つ素晴らしさを守り育てる気持ちを失わず、白馬に生きる喜びを日々大切にしたいと思えます。

# 全員協議会

平成23年10月3日 開催

大町市三日町自治会の10月1日の投票結果を受け、北アルス広域連合の新ごみ焼却施設計画などについて、行政からの説明を聞きました。

## ●大町市三日町「住民投票」の結果

新ごみ焼却施設計画の受け入れに

反対	……………	161票	(60・75%)
賛成	……………	104票	(39・25%)
無効	……………	7票	

〔投票対象者 272人〕

議会では「ごみ処理特別委員会」を設置し、エコパーク寒川(飯山市)・最終処分場(野沢温泉村)などの視察を行い、人口の減少化や財政面等に配慮した効率的な処理方法などの研究に努めております。

今後も大町市環境プラント及び白馬山麓環境施設組合清掃センターの老朽化対策やごみの減量化、資源ごみリサイクル、集積場の設置など、大きな視野から行政とともに取り組んで参ります。

# 夢、私たちに。 わたしのひとこと



## 無上のよろこび 第61回大北縦断駅伝競走大会

瑞穂 大塚 善弘

初秋の爽やかな天候に恵まれ、第61回大北縦断駅伝競走大会が池田町・小谷村間で開催された。姉妹都市交流をしている河津町も含め、11チームが郷土の名誉をかけてその覇を競った。

長野県下縦断駅伝競走大会よりも歴史があり、過去には中山竹通、福島正、小日向秀幸などオリンピックや世界陸上選手権の出場選手も輩出した、歴史と伝統のある駅伝大会である。最長13.2kmの1区、最短1.9kmの女子区の8区間の総合タイムで争われた。我が白馬村はA・Bチームを予選会で選出し、若い年代層のチームで大会に臨んだ。選手の殆どがクロスカントリースキー経験者又は現役であり、爆発的なスピードこそないものの、根気と粘り強さではどこのチームにも負けず、Aが準優勝、Bが4位と、地元の声援に十分応えることができたと思う。反省会では、サポートをしてもらった関係者や走らせてもらったことへの感謝の気持ちを述べ、来年こそ、優勝を目指して頑張ることを確認し合った。

無気力な若者が増えている中で、目的をもって、日々努力精進する若者たちと共通の意識を持てたことは、私にとって無上の喜びのひとつときでもあった。



## 経済の建て直しこそ 真の復興につながる

堀之内 横山 義彦

昨今の増税論調には本当にへきえきする。何せ、財務省の増税結論ありきで審議されているにすぎないからだ。マスコミの責任も大きい。この限られた字数でいちいち説明はしないが、長期のデフレに陥っている日本にとって今必要なのは、経済成長つまりGDPの拡大であって、成長こそがフローとしての国民所得を押し上げる。ミクロ的にしか物を見られない市民団体や国民の大多数は（最近の政治家も）、政府支出に目くじらたてて「無駄を削れ！まずは公務員給与を引き下げよ！」「そうだ！そうだ！」という論調に終始する。橋本政権で緊縮財政をやってデフレが加速したにもかかわらず（情情的には理解するが）。麻生政権でせっかく経済がやや上向きかけたところに今度は事業仕分けで元の木阿弥。いいかげんにしてくれ！頭が痛い時は頭痛薬、お腹が痛い時は腹痛薬が当たり前のようにデフレとインフレではその処方違って当たり前だ。



## 築いていくことに 気付くこと

森上 松倉 好乃

今年もツバメが巣を作り、ふわふわ頭で、か弱く見えるのに我先にと大きな口を開くヒナ鳥に、器用に餌を運んでは世話をする親ツバメの姿に、同じ子育てする親として感心したり応援したり励まされる思いで、巣立つまで見届けることを楽しみにしております。時には、巣が卵もろとも崩れ落ちる悲劇もあり、潰れてしまったいくつかの小さな命と、頭上を飛び回る親ツバメの姿を見て切なくなりました。今年も、上手とは言えない危なっかしい飛び方で、右に左に飛び出す小さなツバメ達を、偶然にも我が子と一緒に見送ることができました。私は、子供が幼いころから、今思い出だけでも胸が熱くなるくらいに、人生の先輩方から多くの励ましをいただきました。生きるヒントを与えてくださったことを、心から感謝しております。多くの方々に見守られ支えられていることを忘れずに、これからも、この白馬で過ごす時間を大切にしていきたいと思います。

### 編集後記

長野県白馬高等学校の創立60周年記念式典がウイング21ホールで行われ、県教委、県議、村長をはじめ大勢の来賓が列席し、私たち議会も出席いたしました。式典役員をはじめ同窓会の皆様と在校生も出席し盛大に開催されました。

白馬高校は、検討された高校再編計画では、地域高校としてひき続き存続していくことになりましたが、今後も出来るだけ多くの生徒の入学に期待し、卒業後は地域成長の為に頑張ってもらいたいと思います。全村をあげて白馬高校の発展のために支援していきましょう。がんばれ白馬！！

(相原 良章)

### 議会報調査編集特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 議長   | 下川 正剛 |
| 委員長  | 太田 修  |
| 副委員長 | 柏原 良章 |
| 委員   | 篠崎久美子 |
| 委員   | 太田 榮一 |
| 委員   | 田中 榮一 |
| 委員   | 小林 英雄 |
| 委員   | 松沢 貞一 |